

# AV JOURNAL

1986年3月 第9号



〈デシジョンルームにて〉

## 目次

|  |           |
|--|-----------|
| “外大生の外国語学習について”                                  |           |
| 外国人教師による座談会(第2回).....                            | 2         |
| 一年間LLを担当して.....                                  | 三藤 博... 9 |
| 神聴覚教育施設平面図.....                                  | 10        |
| テープライブラリー、LL自習室利用状況統計表<br>(1985年5月~1986年2月)..... | 12        |
| 編集後記.....  | 16        |

大阪外国語大学

# “外大生の外国語学習について” 外国人教師による座談会 第2回

(1986年2月4日)

## 出席者

金 静子 (朝鮮語)  
 アイブ ロシディ (インドネシア語)  
 ラジャブザーデ、ハーシェム(ペルシア語)  
 クーラス、ジェームス・エドワード(英語)  
 スターク、イアン・クリストファー(英語)  
 ドランス ジュニア、ウイリアム・  
 ミドルブルック (英語)  
 メラー・アナセン、ニナ (デンマーク語)  
 ボロー、ジャン・ノエル (フランス語)

## 視聴覚教育委員会委員

乙 政 潤 (ドイツ語)  
 (司 会)  
 正 木 恒 夫 (英 語)  
 溝 上 富 夫 (ヒンディ語)  
 大 木 充 (フランス語)  
 山 本 進 (留 別)  
 郡 史 郎 (イタリア語)  
 斎 藤 隆 文 (英 語)  
 岸 本 晴 広 (L. L. 係)

昨年、視聴覚教育委員会の事業の一環として開いた「外国人教師座談会」は、もともと数年にわたって継続し、LLで授業して頂いているすべての外国人客員教授・講師の方々を順次お招きする考えで始めたものであった。幸い、お招きした方々に喜んで頂いた上、座談会の記事を読まれた方々からも御好評を頂いたので、委員会としてこの事業の継続は有意義であると判断し、今年度も開くことにした。

前回の経験から、こちらの用意した話題は座談会にとって適当であることが分かったので、前年度のものを踏襲した。

両年度の座談会にお出頂けなかった外国人の先生は、今後、逐次お招きするつもりである。その節にはよろしく御協力下さるようお願いする次第である。

司 会： お忙しいなかお集まり頂きありがとうございます

(乙政) ございます。それでははじめさせていただきます。私、視聴覚教育委員会の委員長乙政です。

通訳者紹介(略)

出席者紹介(略)

お手元にプログラムをさしあげていますが、本日の主要テーマは「外大生の外国語学習について」ということで、それを次の6つ

- 1) 外大生を教えていて楽しいですか。
- 2) お国の学生とどこが違いますか。
- 3) 何に弱く、何に強いですか。
- 4) 先生は何を伸ばしたいと考えて授業をしてられますか。
- 5) LLはどのように発展させていけば

いいでしょうか。

6) 最後にそれぞれ外大生への忠告、助言がありましたら一言ずつお願いします。

に分けてみなさんの御意見を伺いたいと考えています。まず第1の小テーマ《先生方が外大の学生達を教えて楽しく感じられているか》ということから、御自由に御意見をお聞かせ下さい。

クーラス： はい、非常に楽しんでます。学生達

(E) は注意を集中して受講してくれていますし、協力的で、非常に真面目でもありませんから、嬉しく思っています。ただ問題点があるとすれば、夜(II部)の学生達で、彼らは働いたりしているので疲れていますし、忙しくて勉強の時間もよく取

れないようで、教える側として気になります。学生に問題があるというのではなく、彼らのおかれた状況が問題なので、可愛想だと思っています。

ドランス： 昼の学生を教えたのは一学期間だけで  
(E) したけれどもよくできますし楽しかったです。夜の学生についていえば、よく勉強するタイプと勉強しないタイプに大きく分かれています。よく勉強するタイプというのは、年輩者であり、一度大学を出ている人も多く、その意味ではクラスが成熟している気がして、教えやすいと思います。彼らは学問に対する情熱もありますし、若い人達に対する刺激という意味でも、やりがいのあるクラスを形成してくれています。そういうところが、夜の学生を教えていて楽しいところです。若い学生達について考えてみても、この二、三年は、英語に対する学習に熱が入ってきたように思われて、よるこんでいます。ただし、4分の1から3分の1の学生達は、授業についていけず、ドロップ・アウトしているような気がします。

アイプ： お二人と同意見なんですけれども、私  
(I.N.) に関しての問題は、学生達のある一部は授業に遅刻することが多くて、しかも30分から45分も遅刻します。クラブ活動に忙しかったと言い訳をするのですが、私としては、クラブ活動とクラスのどちらが大切なのかと質問したくなります。

司会： 学生がクラブ活動に熱心だというのは我々にも共通な悩みであるわけですが、



他の先生方にも同じ意見があるかもしれませんが。いかがでしょう。

ラジャブ 私も学生に教えるのを楽しんでいます。  
ザーデ(P) 学生達は真面目で勉強をよくしますし、責任感もあるようです。ただ数人の学生達はクラブのため非常に遅れてクラスに出て来るので、たしかに問題です。彼らがクラブ活動を頑張っているようならまだいいんですが、クラブ活動のほうもいいかげんになっている人もいますので、そういう人たちは問題だと思います。私にとって教えることの良さは、教えることは自分の知識も増やすことであり、教えることによって、日本の社会の組織とか社会の状況を把握できたりしますから、私自身の勉強にもなるということですから。彼ら学生同志で問題なのは、彼らのなかにあるサラリーマン的な意識で、彼らは単に仕事を探すために大学に来ている(笑) そういうところがあります。そういう意味で彼らは学生というよりは、すでに会社員という気がいたします(笑)。

ドランス： クラブ活動をしている学生達について、  
(E) 私はよい方法を考えました。——II部の学生達で仕事を持っているため遅れて来る人もいますが、私は彼らをとがめません。——私は大阪大学でも教えていますが、クラブに出ることで授業を休むことがないように、まず、成績を試験ではなく毎回の出席でつけます。一回でも休むと単位をやらないことにしています。その意味で私は「意地悪ビル」と呼ばれています(笑)。言い訳はいろいろあるんですが、病気をしたときは薬の箱を持ってくるようにしています。家族の方の不幸のときなどはちゃんと話を聞くようにしています。私が学生に欠席を許可するのは、公式の行事で、許可の出た場合だけです。テニスの公式戦とか。私はどちらかといえば親切なほうですからそういうふうにするわけです。10分や15分の遅刻をとくに怒ったりはしませんが、それはいけないことだという印象は学生



達に与えているつもりです。というわけで学生達もときには遅れたりしますが、それはもう少数派ですし、最近ではですから、そうした問題は解決されました。

金 (K)： 遅れたり、欠席したりというのは3、4年のクラスにそういう傾向がみえます。1、2年のときは真面目です。それと文化祭とか連休とか、学期末のときに散漫で、来たり来なかったりします。クラブ活動についていえば、それをするには賛成です。何故なら日本の会社は採用にあたってクラブ活動の経験を大きくみていますし、ただ就職のことだけでなく、学生時代には大切なことだと思います。もちろんクラブのことで勉強しないというのはいけません、クラブと勉強の両立できる人というのを尊重したいと思います。

司 会： クラブ活動は支持されるわけですね。学生が話題になってきましたので、小さいテーマの2番目と3番目、《お国の学生とどこが違いますか》ということと、《本学の学生の長所と短所について》を合わせてうかがいたいと思います。

アナセン： 教えることについては非常に楽しんで (DM) いますけれども、私もすこしまえまで学生として外国語を学んでいた、そうした経験からみて、日本の学生というのはあまりに素直すぎ、あるいは真面目すぎるのが問題だと思います。宿題もきちんとやってくるし、やってこないというの

は少数です。私はときどき、さぼるか、間違っただけでもやってみなさいと言ったりしますが、それほどそういう感じがあります。

スターク： 私もおなじように考えていますが、私 (E) が気にしていることといえば、日本人のユーモアというものをもっと理解したいということ。意地悪なだけでなく、学生達を笑わせたいと思っています。

アナセン： ユーモアの感覚ということについて (DM) えば、彼ら学生はたしかによく笑ってくれますが、ただ問題なのは、あまりに受け身で、批判精神に欠けていることです。私はかつてデンマークやハンガリーで教えました、彼ら、とくにデンマーク人は批判精神が旺盛で、クラスのなかでもよく討論をします。ところが日本の学生というのは、あまり議論をしませんね。

スターク： 同感です。日本の学生はイギリスの学生と比べて、たくさんのことを覚えようとはしますが、あまり考えない(笑)。そこが問題だと思います。

金 (K)： ちょっと違った意見ですけど、4年間教えてもお互いに言葉も不十分で、ジョークもお互いの人柄についても充分わからずにすごしてしまう場合があります。いくらこちらでジョークを言っても、向う側が分ってくれません。それで、卒業式の後の追出しコンパの席で、「私はこういうひとなのに先生はこういうふうにみていた」、といった話を聞いたことがあります。そういう意味で、ジョークがわかるとおっしゃるみなさんのお話はうらやましいです。

ドランス： 文化的な背景が違うんでしょうが、学生達で問題なのは、ひとつは、教師が言うことを聞くのに慣らされ過ぎているということ。もう一つは、自己表現が嫌いだということ。彼らはわかっているのに言わない、そういう特殊性があるようです。25年前に私が教え始めたときに、質問すると、お互いの間でおしゃべりをするのにみなの前で表現しようとはしない。



自分を表現するのが嫌いなのでしょう。それが日本人のやり方なのでしょうが、言葉を学習するうへでは、弱点だと思えます。言葉をマスターしようと思えば、そういう点を克服しなければ、だめでしょう。自分の思っていることをひとに表現できないこと、しないということは、外国人にとっては無礼なことだと思われますから、そういうところはよくないでしょう。

スターク：たとえばL.L.の聞き取りについて言いますと、あるイギリス方言の場合ですが、ある文章があり、前半がくずれた発音で非常に聞き取りにくい。そこで学生のすることをしていると、まず辞書を引く。辞書を引くまえに、文章全体の意味や、文章の構成から考えれば、単語についての意味はある程度推測できるでしょう。ところが努力して推測しようとせずに、すぐ辞書に頼ろうとします。

アイブ：日本人の学生は勤勉で、暗記等はよくします。ただ弱点は、ミスター・ドランズのおっしゃったように、自己表現、主体的に発言することができないことです。

ラジャブ：学生が自己表現できないのは、彼らの持っている気持というか、言葉の問題が大きいと思います。彼らが微妙な問題について発言しようとする時、語学力が弱いために言葉にできない。ですから私が学生に質問するときにはイエスカノーで答えられるように、会話のクラスを進め

ています。あるいは私の言ったことを書かせてみます。そのときは彼らも、自分自身を表現できるようです。直接的に聞くのではなく、間接的に質問する。たとえばある短い文章を与え、その文章を完結させないで、その文章がどのように終るかとか、結論はどうなるかとか聞くようにしています。日本人のユーモア感覚というのは私達と違いますし、私達のそれを理解させるのは難しいようです。たとえば、イギリスとかアメリカの映画を見ていても、どこが面白いのかよくわからないようです。一休さんの例を出したりするとわかるようですが。そこでイランの話と日本の話と比べ、同じことを言ってもポイントの違うような例をいくつかあげ、その違いを説明することによって、どこがポイントなのかをわからせようとしています。

司会：日本人学生のユーモア感覚ということですがボロー先生はどうお感じですか。

ボロー：ときどき授業中に漫画とかを教材に使(F)ったりしてみても、フランスの漫画ですからフランスのユーモアはあまりわからないようです。よく説明しても、もひとつよくわからないと言います。

司会：漫画とおっしゃいますのは、カリキチュア、一枚の絵のものですか。

ボロー：一枚ものではなくて、ストーリーもの(F)ですけど。





司 会： 何故でしょうか。

ポ ロ ー： 何故でしょうか(笑)。両国民の考え方  
(F) がちがいます。それでだと思います。

金 (K)： その点についてなんです、私も同じ  
ことを感じるんですが、その国の言葉を  
習うのなら言葉だけでなく、自分自身を  
その国のなかに入れて、そこから考えれ  
ばいいのに、自分を日本人の感覚のまま  
で外国語をつまむような気持で座ってい  
るから、ユーモアなんて説明して分かる  
もんじゃない。ぱっと直感する、そうで  
なければいけないと思う。その国のなか  
へ自分の身をしっかりと入れなければ、考  
えとか、言葉の発想とか、すべてその国  
のものになり切ろうと思わなければいけ  
ない。そこらに問題点があるのではない  
か。みな恥ずかしいとか、日本人は入ろうと  
思わない、そういう気がします。

アナセン： 私のクラスでゲーム、役割を演ずる寸  
(DM) 劇をやらせているんですけども、学生  
達がうまくやり、そのことでユーモアが  
わかるように思います。ユーモアという  
のは、言語を学ぶうえで、障害を取り除  
いてくれる一つの大きなポイントだと思  
いますし、その意味でユーモアは非常に  
大事だと思います。

スターク： 私も同じ方法を使っていたのですが、  
(E) 寸劇をやらせていいのは、他人の人格を  
自分にあてはめることができ、言っ  
ている内容が自分なら言いそうにないこと  
でも、それを言うことによってその言語  
に親しみがもてることです。

司 会： ちょうど次のテーマにつながりますの  
で、移っていきたいと思います。小さい  
テーマの4番目《先生は何を伸ばしたい  
と考えてL.L.で——あるいはL.L.と限定  
しなくても——授業をなさっていますか》  
ということです。

クラス： 私はとくに質問をする能力を身につけ  
(E) るようクラスでやっています。学生達は、  
みなさんがおっしゃったように、自分の  
意見を言うのが嫌いで、個人的な意見を  
あまり言わない。ですから私は学生達に



質問をするように言う。質問するという  
ことは少くとも考えないとできないので、  
質問させることによって考える能力を開  
発できるよう、積極的に質問するように  
言う。一つの言葉における障害を乗り越  
えるためには、今まで、中学や高校のよ  
うに、自分で考えないで質問するという  
ことではいけないので、考えて質問させ  
るようにする。たとえば材料を与えて、  
その材料について、質問を考えるように  
言う。その質問も、HowかWhyを使った  
質問であって、内容のある質問を考え  
るようにしむける。そして自分の意見を  
発表するとき大事なことは、聞く能力も  
そうですけど、同時に語彙の量もふやさ  
なければ、発言しようと思っても、言  
いたいことも言えないので、語彙の量  
をふやすようにすることも大事でしょう。

アナセン： 私も質問する能力をつけるということ  
(DM) は大切だと思います。そうしたとき感  
ずるのは、カルチャーギャップということ  
であって、それを克服するのも大事です。  
国によって考え方や考え方の論理が違  
う。それを克服しなければいけない。その  
意味で、クラス先生にお伺いしたいのは、  
どんなふうに学生に質問させているのか、  
あるいは学生に質問させているのか、  
ということ。私が考えますのに、テ  
キストにすでに書いてあるようなことを、  
質問してもつまらないと思われまし  
、その点クラス先生はどのようになさ

ているんでしょう。

クラス： 少し具体的な話を例にとりますと、先  
(E) 日私の使った話は、短いもので、銀婚式のときに妻に贈り物をしようと考えた。そこで銀行へ行ってどんなものがあるかと尋ねると、赤いバラがいいだろうということで、あちこちの花屋に行ったのにどの店も閉まっている。最後に、殆んどけんかをしそうになってまで、お店の人とかけあってやっとバラを手に入れ、家に帰った。しかし、家ではそうした苦労については言わないで、たんに銀行に誰かが忘れたバラを持って帰って来ただけだと、妻には語る(笑)。こうした話は少し意外性がありますし、そういう話を学生にし、何故彼は本当のことを妻には言わなかったのかと、学生達に説明させました。その答えはいろいろ想定できますが、そういう設問をしてみる。そういう意外な面白い内容を含む話、情緒的でも劇的でもあるような効果を持つ話を学生達に聞かせると、学生達も反応し、意見を述べてくれるように思います。もちろん教師側はその答えは知っているべきです(笑)、そういうことを聞くのは愚かに思えるかもしれませんが、それによって学生達に話させるようにしているわけです。学生達はこうした話によって、その国の慣習なりをより理解できるように思われますし。

司会者： クラス先生のお話で、語彙を増やすという話が出まして、これはお互いに苦労しているところだと思んですが、もしなにか、こういう方法を実践しているという方がおられるようでしたら、お教えいただきたいと思うんですけども。

クラス： 語彙に関してですけれども、私が学生  
(E) にやらせているのは、単に意味を辞書で引き、あるいは繰り返し覚えるというようなことではなくて、文章の中で使用して貰うということです。コンテキスト、すなわち状況を設定してやり、学生達に自分で文章を作らせて、その単語に慣れ

させるようにしています。

ラジャブ： 私が学生達に言っているのは辞書を引  
ザーデ(P) かないようにということ。とくに状況判断から単語の意味をつかませるようにしています。あまり、イラン語-日本語の辞書にいいものはありませんし、辞書を使わない方が、その言葉に慣れ親しんだり、文化により親しんだりできますし、視野も広げることができますので、語彙も増やすことができるでしょう。

司会： それでは5番目のテーマに移らせていただきます。先生方にL.L.を使って授業をしていただいていますけれども、これからさき、どの点を改良していけばいいか。装置、授業形式、あるいは全体の組織についてでもよろしいですけれども、先生方に御忠告いただけましたらと考えます。

ドランス： 外大のL.L.は素晴らしいと思っています  
(E) す。京都女子大にも教えにっていますけれども、そのL.L.はついて付きで学生の顔が見えない。この場合、A.V.で、映像、音、両方共使えますし、その意味で素晴らしい。いい材料さえあれば、学生にあらゆることを教えられるでしょう。私の目標というのは、テレビの音声多重放送の英語を理解させること、卒業後も引き続いて理解できるようにすることで、そのためにはナチュラル・イングリッシュ、本来しゃべられている流暢な英語を理解させなくては行けない。たと



えば「エデンの東」で使われている長い文、40語も使われているような長い文ですが、非常に速くしゃべられていて聞き取りにくい。何故かといえば、日本人は別々に音を聞く。日本語は個々の音節にストレスをおく言語ですので、英語のように区切れのない音で一つのセンテンスを聞くのは苦手なわけです。英語以外の他のインド=ヨーロッパ語にも言えることですが、英語とか印欧語というのは、一つの自然なひと続きの文として発音するわけです。ところが日本語の場合は、一つなら一つの音節に区切りをおき、おなじようにアクセントをおきますので、英語のセンテンス・リズムに慣れるのが非常に難しい。その意味で、私がここでやらせるようにしているのは、センテンス・リズム、英語の持つ文のリズム、ひと続きに発音するということですが、それに慣れさせる、それがここでの目標です。その意味でこちらのL.L.装置は素晴らしい。ここで一年間やらすのは、センテンス・リズムに慣れさせること。そしてそのためには、短い文章を自然なスピードで繰り返させる。口を使って自然な文章を繰り返させることによって、学生達は自然な英語に慣れることができるでしょう。たとえばテストをやっても、最初のころよりは2、3倍の正解率に向上します。それで、半分でも理解できたら、彼らはその映画について、わかり、その映画について考えることが可能となるでしょう。私の使う映画というのは、「エデンの東」とか「クレイマー・クレイマー」というようなものですが、内容が面白いもので、学生達も興味をもって、見た後、討論することも、かなりたやすくできるわけです。一番大事なことは、まず原語のままに理解するということで、学生達が一生懸命やりさえすれば、その問題は解決するでしょう。

アナセン： デンマーク語で問題なのは、デンマーク語(DM)のビデオが非常に少ないこと、そ



れにデンマークで作られたビデオは、システムが違い、使えないことです。その意味で、小語科にとっては不便です。

アイブ(IN)： 私達にとってもそうです。

岸本(L.L.)： いまおっしゃられたビデオ・システムの件ですが、デンマークのものでもこちらで使うことは可能です。L.L.教室では不可能ですが、Pal方式、Secam方式についてはビデオ・ルームで見ることができますし、自習ブースも用意してありますので、どこの国のビデオでも使えるようになっています。

アナセン(DM)： 使えるのですか。

スターク(E)： それは私も知らなかった(笑)。

アナセン(DM)： コピーすることもできるのですか。

岸本(L.L.)： コピーは著作権法上できないことになっていますけれども、教材に使用されるということでしたら問題はないと思います。ただコピーしなくてもそのまま見ることもできるということです。

スターク： ヨーロッパとはテレビ・システムがちがうはずですけど。

ドランス： ビデオ・ルームではどんなシステムでも見ることができるということですよ。

司会： それでは、最後に6番目のテーマとして、各先生から外大生に対して、御忠告や御助言をお願いしたいと思います。できましたら、どうか一言ずつで。

ラジャブ： 一年生に忠告したいのは、アルバイトを止めなさいということ(笑)。1年生は



言語を学ぶことにもっと熱中してほしい。  
1、2年生で言葉を学び、3、4年生でそれをみがくということですから。

クラス： 理解できないときは、理解できないと  
(E) いうことをちゃんと言うこと(笑)。そうすれば、こちらもちょうと説明できます。

アナセン： もっと好奇心を持ちなさいということ。  
(DM) それが言語を学ぶうえで、もっとも大切なことです。

スターク： 英和辞典は捨てなさい(笑)、ということ  
(E) とです。

ポロー： クラスでは、フランス語でコミュニケ  
(F) ーションしなさい、ということ。私にたいしてだけでなく、学生お互い同志でも。

金 (K)： 外大の学生は学生時代を楽しんでいるように見えます。もっと勉強も楽しんだらどうでしょう(笑)。

ドランス： さっきもおっしゃいましたけれども、  
(E) 英語あるいは他の言語を、お互いの中で使いなさいということ。ここでは、先生もお互いの中で使い合ったらということ。日本人はどうも、外国人だけ外国語を使ったらいいように思っているようですが、そうではなくて、日本人の間でも外国語を使うべきです。

司 会： それではこれで終りにしたいと思います。お忙しいなか、貴重な御発言、ありがとうございます。(拍手)

〔なお、この座談会は、日本語→英語を正木恒夫、英語→日本語を齊藤隆文の各英語学科教官に通訳をお願いして成立したものです。記して謝意を表します。〕

## 一年間LLを担当して

フランス語学科 三 藤 博

初めまして。去年の4月にフランス語学科に着任致しました。一年間LLのクラスを担当しましたが、何分にも初めての経験だったので、試行錯誤を繰り返しているうちに一年が終わってしまったという所です。そんな状況ですが、ここでは一年間のクラスで感じたことを書いてみたいと思います。

私が担当したのは中級(2回生)のクラスでしたが、中級ではLLクラスの果たすべき役割は初級の場合と大きく違ってきます。初級では、まず何よりも学んでいる外国語の個々の音とその連続を正確に発音できるようになることが目標となります。この段階では、専ら繰り返してテープなどのネイティブ・スピーカーの発音を聴き、それを真似ることが重要です。このことは簡単なようでいて実際にはかなり難しいことで、これができるようになれば、初級としては及第といえるでしょう。これに対して、中級ではノーマルスピードでの会話ができるための聴

き取りと話す能力をつけることが目標となってきます。このためには、初級の時のような単なる機械的繰り返しだけではなく、学習者自身が積極的に関わっていくことが何よりも大切です。

先で言った初級と中級でのLLの役割の違いは、このような性格づけから自然に出てくるものです。初級の段階では、一斉授業形式によるパターン・プラクティスは有効、というよりもむしろ必要不可欠というべきでしょう。とにかく“理屈ぬき”に外国語の音に慣れていかなければならないのですから。しかし、それを終わって中級の段階となると、一斉授業方式にはどうしても限界があるように思います。音に関して基礎のできているこの段階では、文法などの知識も活用しながら、習っている外国語を自分のものとして、自由に運用できるようになることを目指すわけですが、その際にペースの取り方や、また興味の違いなども学習の効果に大きな差を生んで

くるものです。もちろん、これは中級以上には一斉授業方式は効果がないという意味ではありません。ただ、そうした授業に加えて、学習者一人一人が自分の興味とペースに合った学習を行うことが非常に重要だということが言いたいわけです。

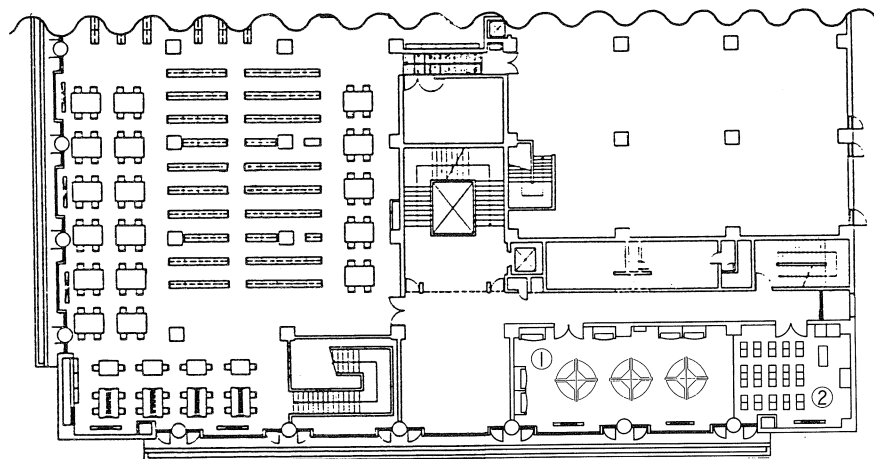
幸い、本学のLL関係の設備は大変充実した優れたものです。学生の方々が授業以外にも積極的にこうした設備を活用して自分の目標に合ったLL学習を自分自身で行われることを強く希望しています。

## ②テープ利用者数 '85.5月～'86.2月

(カセットテープ)

| 順位 | 語科名           | 利用者数  | 利用指数<br>(利用者数%<br>在籍者数) | 月別利用者数 |     |     |     |     |     |     |       |     |  |  |  |
|----|---------------|-------|-------------------------|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----|--|--|--|
|    |               |       |                         | '85 5  | 6   | 7   | 9   | 10  | 11  | 12  | '86 1 | 2   |  |  |  |
| 1  | フランス語         | 885   | 271                     | 133    | 140 | 167 | 102 | 70  | 51  | 90  | 74    | 58  |  |  |  |
| 2  | 留学生別科         | 288   | 152                     | 27     | 35  | 28  | 10  | 46  | 52  | 32  | 37    | 21  |  |  |  |
| 3  | デンマーク・スウェーデン語 | 74    | 145                     | 29     | 9   | 4   | 7   | 12  | 4   | 3   | 3     | 3   |  |  |  |
| 4  | ドイツ語          | 347   | 130                     | 54     | 34  | 58  | 23  | 22  | 25  | 26  | 17    | 88  |  |  |  |
| 5  | ビルマ語          | 73    | 114                     | 5      | 12  | 14  | 13  | 13  | 5   | 5   | 5     | 1   |  |  |  |
| 6  | イタリア語         | 126   | 102                     | 30     | 29  | 2   | 13  | 17  | 2   | 1   | 7     | 25  |  |  |  |
| 7  | アラビア語         | 131   | 102                     | 16     | 40  | 23  | 9   | 19  | 11  | 6   | 0     | 7   |  |  |  |
| 8  | ロシア語          | 364   | 100                     | 61     | 41  | 48  | 21  | 30  | 25  | 45  | 28    | 65  |  |  |  |
| 9  | 朝鮮語           | 69    | 91                      | 6      | 6   | 4   | 1   | 6   | 2   | 8   | 11    | 25  |  |  |  |
| 10 | イスパニア語        | 329   | 83                      | 69     | 46  | 43  | 19  | 56  | 27  | 26  | 22    | 21  |  |  |  |
| 11 | ポルトガル・ブラジル語   | 70    | 80                      | 7      | 8   | 9   | 12  | 6   | 0   | 6   | 6     | 16  |  |  |  |
| 12 | 英語            | 483   | 78                      | 89     | 43  | 85  | 43  | 62  | 38  | 33  | 33    | 57  |  |  |  |
| 13 | 中国語           | 278   | 73                      | 28     | 27  | 47  | 27  | 39  | 41  | 26  | 16    | 27  |  |  |  |
| 14 | ペルシア語         | 54    | 72                      | 18     | 3   | 3   | 5   | 9   | 4   | 6   | 4     | 2   |  |  |  |
| 15 | インド・パキスタン語    | 105   | 67                      | 3      | 14  | 42  | 9   | 11  | 4   | 15  | 1     | 6   |  |  |  |
| 16 | モンゴル語         | 42    | 63                      | 1      | 2   | 4   | 7   | 2   | 0   | 0   | 5     | 21  |  |  |  |
| 17 | インドネシア・フィリピン語 | 60    | 54                      | 7      | 17  | 20  | 2   | 3   | 0   | 1   | 4     | 6 6 |  |  |  |
| 18 | タイ・ベトナム語      | 52    | 46                      | 0      | 28  | 17  | 2   | 0   | 1   | 1   | 1     | 2   |  |  |  |
|    | 合計            | 3,980 |                         | 629    | 556 | 628 | 339 | 415 | 291 | 334 | 290   | 498 |  |  |  |

3階

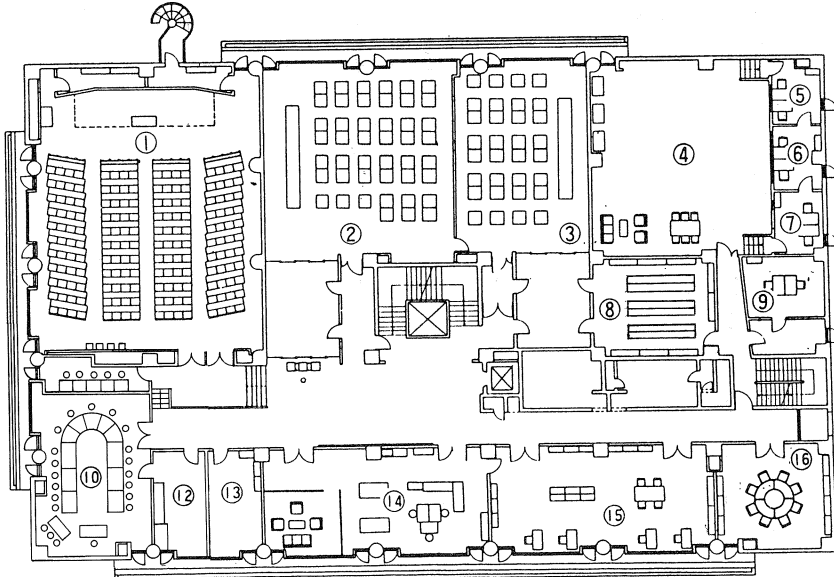


①ビデオ自習室

②ビデオ教室

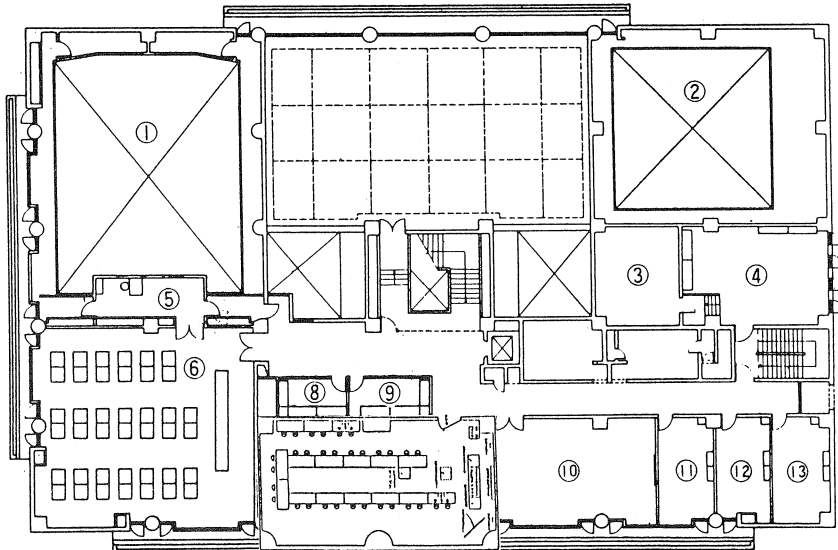
# 視聴覚教育施設平面図

4  
階



- |             |           |           |
|-------------|-----------|-----------|
| ①視聴覚教室      | ⑦企画室      | ③資料整理室    |
| ②4-I L.L教室  | ⑧資料室      | ⑭事務室      |
| ③4-II L.L教室 | ⑨録音室      | ⑮テーブルブラリー |
| ④スタジオ       | ⑩デジションルーム | ⑯コンピューター室 |
| ⑤編集室        | ⑪同時通訳室    |           |
| ⑥調整室        | ⑫モニター・資料室 |           |

5  
階



- |          |             |            |
|----------|-------------|------------|
| ①視聴覚教室吹抜 | ⑥5-I L.L教室  | ⑪教材作成室 I   |
| ②スタジオ吹抜  | ⑦5-II L.L教室 | ⑫教材作成室 II  |
| ③無響室     | ⑧海外放送受信室    | ⑬教材作成室 III |
| ④音声実験室   | ⑨準備室        |            |
| ⑤モニター室   | ⑩L.L.自習室    |            |

# テープ・ライブラリー、LL自習室利用状況統計表

## ①テープ利用回数 '85.4月～'86.2月

(言語・音楽) カセットテープ

|    | 分類(各テープ総数)  | 総利用回数 | 1 (各利用回数)                        | 2 (各利用回数)   | 3 (各利用回数)  | 4 (各利用回数)                            | 5 (各利用回数)   |
|----|-------------|-------|----------------------------------|---|--|--------------------------------------|---|
| 1  | 英語(1472)    | 1010  | 英検1級<br>カセットブック (45)             | Linguaphone American<br>English Intermediate<br>Course (30) | WHADDAYA SAY?<br>Guided Practice in Relaxed<br>Spoken English (24) | 英検2級<br>カセットブック (19)                 | 別冊 English Journal<br>ゼロからのスタート<br>ヒアリング特訓本 (16)              |
| 2  | フランス語 (812) | 782   | Basic Spoken French<br>(524)     | Linguaphone<br>Cours de francais (17)                       | 耳から学ぶフランス語 (6)   | すなおなフランス語 (6)                        | Sans frontiers (5)  |
| 3  | 日本語 (304)   | 300   | Japanese for Today (152)         | Intensive Course in<br>Japanese Elementary (38)             | Intensive Course in<br>Japanese Intermediate (10)                  | Basic Japanese<br>-A review text (5) | An Introduction to<br>Modern Japanese (4)                     |
| 4  | ロシア語 (513)  | 260   | Говорим по-русски<br>(29)        | Русский язык для<br>всех (15)                               | Евгений Онегин (10)  | 改訂版<br>標準ロシア語会話 (8)                  | 百万人のロシア語 (7)  |
| 5  | スペイン語 (490) | 315   | Curso de español (12)            | Español en Directo<br>Dialnoes 1-14 (7)                     | ことばの旅<br>ニスペイン・中南米1 (6)  | 標準スペイン語会話 (6)                        | NHK スペイン語入門(第二版)<br>発音・基本文型 I (5)                             |
| 6  | ドイツ語 (648)  | 248   | Deutsch 2000 (80)                | Basic Spoken<br>German (27)                                 | Berlin ist eine<br>Reise wert (3)                                  | カセット<br>はじめてのドイツ語 (3)                | Die Zaubergeflöte (3)   |
| 7  | 中国語 (770)   | 137   | こんなとき中国語では<br>どういふか (6)          | NHK 中国語入門(第2版)<br>発音・基本文型 (5)                               | 魯迅作品选 (4)  | 基礎中国語 下巻 (4)                         | 中華人民共和国国歌 (4)   |
| 8  | イタリア語 (179) | 128   | Lingua e Vita d'Italia (25)      | Linguaphone<br>Corso d'Italiano (14)                        | Vacanze a Roma<br>Première année d'Italian (13)                    | Vacanze in Italia (7)                | Renata Scotto (6)   |
| 9  | 音楽 編 (475)  | 102   | Folk Songs of<br>Viet Nam (4)    | ビルマの竖琴 (4)  | ジャワのガムラン音楽 (3)   | バリ島のガムラン音楽 (3)                       | タイの音楽 (3)   |
| 10 | 西洋諸語 (251)  | 84    | チェコ語の入門 (6)                      | Linguaphone<br>NEOEΛHJNH ΣEIPA (6)                          | Svenska För er 1<br>No.1 (3)                                       | スウェーデン語の<br>入門 I (3)                 | ルーマニア語の入門 (3)   |
| 11 | 東洋諸語 (194)  | 77    | トルコ語教本 (17)                      | 昭和59年度AA研言語研修<br>トルコ語 1.文法編 (10)                            | 昭和59年度AA研言語研修<br>トルコ語 2.文法編 (5)                                    | 昭和59年度AA研言語研修<br>トルコ語 3.講読編 (4)      | Swahili (East Africa)<br>World Foreign Language<br>Series (4) |
| 12 | アラビア語 (155) | 70    | Linguaphone<br>Arabic Course (5) | Linguaphone<br>Arabic Course (4)                            | Elementary Modern<br>Standard Arabic (4)                           | Koran No.1 (3)                       | Linguaphone<br>Arabic Course (3)                              |
| 13 | 朝鮮語 (114)   | 41    | 10日間のハンブル<br>(別冊宝島42) (8)        | 標準韓国語初歩から<br>Tape1 (4)                                      | 標準韓国語初歩から<br>Tape2 (3)   | 朝鮮語の基礎 No.1<br>文字と発音 (2)             | アリランの世界 (1) (2)   |
| 14 | ペルシヤ語 (190) | 26    | Iranian Music (1) (3)            | イラン国内ニュース<br>(1978) (2)                                     | ラジオニュース<br>(1979.3.8) (2)  | Qesse (1) (2)                        | Qesse (2) (2)   |

(言語・音楽) カセットテープ

| 分類(各テープ総数)           | 総利用回数 | 1 (各利用回数)   | 2 (各利用回数)                               | 3 (各利用回数)                                     | 4 (各利用回数)   | 5 (各利用回数)   |
|----------------------|-------|---|---|---|---|---|
| ベトナム語 (28)           | 26    | Spoken Vietnamese (4)                             | カセットで学ぶ39ヶ国語<br>実用連修会話シリーズ<br>ベトナム編 (4) | カセットで学ぶ世界のことば<br>5週間ベトナム語 (4)                 | FSI Basic Course<br>Vietnamese No.1 (3)             | 基礎ベトナム語 (3)   |
| タイ語 (41)             | 17    | 標準タイ語教本 I<br>No.5 (3)                             | 標準タイ語教本 I<br>No.1 (2)                   | 標準タイ語教本 I<br>No.2 (2)                         | Thai World Foreign Lan-<br>guage Record Series (1)  | 実用タイ語会話 No.1 (1)                                      |
| ビルマ語 (23)            | 16    | 現代ビルマ語入門 (5)                                      | ビルマの民族音楽 (4)                            | ビルマ語会話練習帳1 (2)                                | ビルマ歌曲集 No.1 (1)                                     | ビルマの竖琴 (1)  |
| デンマーク語 (86)          | 10    | これでいいのかな<br>デンマーク語会話 (3)                          | 現代デンマーク語入門 (2)                          | Hej Søster-Trille (1)                         | Linguaphone<br>Dansk Kursus No.1 (1)                | Linguaphone<br>Dansk Kursus No.2 (1)                  |
| インドネシア語 (52)         | 9     | Malay Conversa phone's<br>Round The World (2)     | インドネシア語入門 (2)                           | Malay Holt Spoken<br>Language Series No.1 (1) | カセットで学ぶ39ヶ国語<br>実用連修会話シリーズ<br>インドネシア編 (1)           | 海外旅行会話セット(10)<br>インドネシア語 No.1 (1)                     |
| ウルドゥー語(90)           | 9     | ウルドゥー語入門<br>No.1 (3)                              | Spoken Urdu I (2)                       | Spoken Urdu No.2 (1)                          | ウルドゥー語入門<br>No.2 (1)                                | Urdu Film<br>"Anjuman" (1)                            |
| ポルトガル語<br>ブラジル語 (51) | 8     | Brazilian Portuguese<br>Conversational Course (1) | ブラジルポルトガル語の<br>入門 (1)                   | ABCからの<br>実用ブラジル語会話 (1)                       | Linguaphone Portuges<br>Contemporaneo<br>No.1,2 (1) | Linguaphone Portuges<br>Contemporaneo<br>No.17,18 (1) |
| モンゴル語 (15)           | 5     | モンゴル語 4 週間 (4)                                    | 蒙古語 その2 (1)                             |   |   |   |
| ヒンディー語 (24)          | 1     | Linguaphone<br>Hindi Course No.1 (1)              |   |   |   |   |

(雑誌) カセットテープ

|   |                       |    |   |                                      |   |   |  |
|---|-----------------------|----|---|--------------------------------------|---|---|--|
| 1 | English Journal (114) | 75 | '85.No.7<br>食べ物で学ぶ生活英語 (12)                   | '85.No.5<br>絶対役に立つ会話の<br>ミニ・フレーズ (9) | '85.No.6<br>ゼロから始めるペーパーバ<br>ックの読み方のコツ (8)               | '85.No.12<br>ヒアリング力を飛躍的に<br>伸ばす決めてはこれだ(6) | '86.No.2<br>発想の転換でモノにする<br>英文レターの書き方 (6) |
| 2 | 時事英語研究 (63)           | 67 | '85.No.11<br>く復刻記事>でつづる<br>戦後40年史 (12)        | '85.No.10<br>英会話がうまくなる<br>21の秘訣 (11) | '85.No.6<br>永久保存版「映画の名セリ<br>フ」集 Part II (7)             | '86.No.1<br>私が読んでいるこのペー<br>ジこのコラム (6)     | '86.No.2<br>忙しい人向け1日30分<br>でできる英語学習法 (6) |
| 3 | 基礎フランス語 (11)          | 6  | '85.No.5<br>入門特集第1号 (2)                       | '85.No.6<br>入門特集第2号 (1)              | '85.No.8<br>入門特集第4号 (1)                                 | '86.No.1<br>入門特集第9号 (1)                   | '86.No.2<br>入門特集第10号 (1)                 |
| 4 | BIZ (54)              | 5  | '85.No.1<br>情報の巨人 ATT (2)                     | '85.No.3<br>トヨタ=GM協調の<br>結晶 (1)      | '85.No.6<br>「外人材を「外」に出せ<br>「アメリカ」を拓く」ホンダ<br>のすごい男たち (1) | '85.No.7<br>出てこいスーパー<br>マネージャー (1)        |  |
| 5 | FEN (18)              | 1  | '85.No.12<br>FENを聞き取るためのザ・<br>決まり文句ベスト100 (1) |                                      |   |   |  |

## (Video) 映画 他

|    | 分類(各テープ総数)  | 総利用回数 | 1 (各利用回数)                               | 2 (各利用回数)                          | 3 (各利用回数)                     | 4 (各利用回数)                   | 5 (各利用回数)                         |
|----|-------------|-------|---|------------------------------------|-------------------------------|-----------------------------|-----------------------------------|
| 1  | 英語 (160)    | 3396  | マイ・フェア・レディ(138)                         | カサブランカ (111)                       | ローマの休日 (103)                  | ピリー・ジョエル<br>ニューヨーク・ライプ(100) | ネバー・エンディング<br>ストーリー (83)          |
| 2  | フランス語 (45)  | 356   | ラ・ブーム (38)                              | シェルブールの雨がさ (32)                    | 太陽がいっぱい (23)                  | 情婦マノン (18)                  | 男と女 (10)                          |
| 3  | 中国語 (54)    | 182   | Project A (45)                          | 逆光 (15)                            | 少林寺 (13)                      | 水滸伝 (13)                    | 中国話劇「家」 (9)                       |
| 4  | イタリア語 (21)  | 87    | La Strada (道) (23)                      | Malizia (青い体験) (12)                | La Dolce Vita (甘い生活) (11)     | Il Ferroviere (鉄道員) (11)    | Un Maledetto Imbroglia (刑事) (7)   |
| 5  | ロシア語 (18)   | 79    | Dersu Uzala (12)                        | 魔女伝説・ウィー (12)                      | 小犬を運んだ奥さん (8)                 | オプロモフの<br>生涯より (7)          | モスクワの高校生 (5)                      |
| 6  | スペイン語 (27)  | 73    | Carmen (28)                             | Espana al dia (7)                  | フリオ・イグレシマス<br>スペシヤル (7)       | ホセ・カレラス<br>オペラコンサート (7)     | 名画<br>ゲルニカの帰郷 (3)                 |
| 7  | ドイツ語 (10)   | 71    | 会議は踊る (24)                              | こうもり (8)                           | ブリキの木鼓 (8)                    | 未完成交響楽 (7)                  | Uボート (6)                          |
| 8  | ヒンディー語 (47) | 49    | Heer Ranja & Hikayatien Shikayatien (5) | SHOLAY (3)                         | '84 Geetmala Collection (3)   | KORA KAGAZ (3)              | Roti Kapada aur<br>MAKAAN 1-2 (3) |
| 9  | 韓国語 (22)    | 26    | 丙泰と英子 (8)                               | KBS 歌謡トップ10<br>ショー (3)             | 風吹くよき日 (2)                    | 族譜 (2)                      | 素顔の韓国<br>-全斗、体制のくらし- (2)          |
| 10 | ポーランド語 (6)  | 12    | Kanal (地下水道) (8)                        | Pociag (夜行列車) (2)                  | Popoli Diament (灰とダイヤモンド) (2) |                             |                                   |
| 11 | スウェーデン語 (3) | 9     | Hostsonaten (秋のソナタ) (4)                 | Après la répétition (リハーサルの後で) (3) | かならず勝つ (2)                    |                             |                                   |
| 12 | 音楽編 (6)     | 8     | NHK名曲アルバム<br>ヨーロッパ編 1. (2)              | NHK名曲アルバム<br>ヨーロッパ編 3. (2)         | NHK名曲アルバム<br>ヨーロッパ編 4. (2)    | NHK名曲アルバム<br>ヨーロッパ編 2. (1)  | NHK名曲アルバム<br>日本編 (1)              |
| 13 | タイ語 (2)     | 4     | 田舎の教師 (4)                               |                                    |                               |                             |                                   |
| 14 | フィリピン語 (10) | 1     | Jaguar (1)                              |                                    |                               |                             |                                   |
| 15 | ギリシャ語 (1)   | 1     | アレクサンダー大王 (1)                           |                                    |                               |                             |                                   |



## (Video) 各国

|    | 分類(各テープ総数)        | 総利用回数 | 1 (各利用回数)                       | 2 (各利用回数)                     | 3 (各利用回数)                 | 4 (各利用回数)                        | 5 (各利用回数)                |
|----|-------------------|-------|---------------------------------|-------------------------------|---------------------------|----------------------------------|--------------------------|
| 1  | 日本 (55)           | 42    | 日本語教育映画1-30 (17)<br>-奈良生駒山- (4) | 聖天さんがおおわします<br>-奈良生駒山- (4)    | ヤンさんと日本の人々 (3)            | 女殺油地獄 (2)                        | 映画「砂の女」 (2)              |
| 2  | 英米 (18)           | 16    | 大陸横断鉄道<br>-アメリカ- (5)            | On Business Abroad (4)        | アメリカ<br>-人種のるつぼ- (3)      | 英吉利語NOW<br>「NHK放送60年」 (2)        | レーガンの挑戦<br>-軍備大増強計画- (1) |
| 3  | ヨーロッパ (22)        | 13    | 夢のオリエンタル急行<br>ロンドン～イスタンブール(3)   | チトーの遺言 (2)                    | ブタペストへの招待 (1)             | ルーマニアの音楽 (1)                     | ヨーロッパの川<br>-青きドナウ- (1)   |
| 4  | アジア (25)          | 11    | 砂漠の民<br>(シルクロード7) (2)           | 敦煌<br>(シルクロード3) (2)           | シルクロード<br>-総集編- (2)       | 黄河を越えて河西回廊<br>(シルクロード2) (1)      | 遙かなる長安<br>(シルクロード1) (1)  |
| 5  | ペルシャ (8)          | 8     | これが今のイランだ<br>-緊迫したペルシャ港- (2)    | ペルシャ語の書き方 (2)                 | イラン・フォーク・ソング・<br>グループ (2) | Rang a Rang No.3 (1)             | Rang a Rang No.5,6 (1)   |
| 6  | フランス (4)          | 7     | フランス人の<br>身ぶり入門 (3)             | 名曲のふるさと<br>-フランス篇- (2)        | ファッションの世界<br>-パリ- (2)     |                                  |                          |
| 7  | ブラジル<br>ポルトガル (7) | 5     | サンバのふるさと<br>-ブラジル- (2)          | 海を渡った青春 (1)                   | ボンディア ブラジル (1)            | UNIVERSIDADE<br>DE SAO PAULO (1) |                          |
| 8  | アラビア (7)          | 4     | イスタンブールの宝石たち<br>-トプカプ宮殿博物館- (2) | al-'Atifah na<br>al-jasad (1) | Hādīt al-nisf mitr. (1)   |                                  |                          |
| 9  | ベトナム (1)          | 4     | 10年目のベトナム<br>-ホーチミン市からの報告- (4)  |                               |                           |                                  |                          |
| 10 | モンゴル (3)          | 4     | 大草原のまつり<br>-モンゴル- <2>           | 大草原の牧畜民 (2)                   |                           |                                  |                          |
| 11 | ビルマ (12)          | 3     | ビルマの民族芸能 (1)                    | ビルマの旅日記録 (1)                  | ビルマ2000キロ<br>(NHK特集) (1)  |                                  |                          |
| 12 | アフリカ (6)          | 1     | サダト大統領暗殺 (1)                    |                               |                           |                                  |                          |

## ②テープ利用者数 '85.5月～'86.2月

(ビデオ)

| 順位 | 語科名           | 利用者数  | 利用指数<br>(利用者数%<br>在籍者数) | 月別利用者数 |     |     |     |     |     |     |     |     |  |  |  |
|----|---------------|-------|-------------------------|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--|--|--|
|    |               |       |                         | 5      | 6   | 7   | 9   | 10  | 11  | 12  | 1   | 2   |  |  |  |
| 1  | デンマーク・スウェーデン語 | 167   | 327                     | 9      | 3   | 8   | 35  | 36  | 22  | 22  | 15  | 17  |  |  |  |
| 2  | ベルシア語         | 212   | 283                     | 9      | 27  | 17  | 13  | 34  | 26  | 50  | 15  | 21  |  |  |  |
| 3  | 留学生別科         | 515   | 271                     | 3      | 42  | 26  | 56  | 33  | 49  | 91  | 80  | 134 |  |  |  |
| 4  | モンゴル語         | 118   | 176                     | 2      | 3   | 6   | 13  | 26  | 13  | 22  | 7   | 27  |  |  |  |
| 5  | アラビア語         | 184   | 144                     | 8      | 23  | 27  | 13  | 24  | 44  | 18  | 12  | 15  |  |  |  |
| 6  | フランス語         | 462   | 141                     | 39     | 58  | 64  | 49  | 89  | 72  | 36  | 16  | 39  |  |  |  |
| 7  | ロシア語          | 500   | 137                     | 43     | 72  | 72  | 41  | 86  | 38  | 48  | 40  | 60  |  |  |  |
| 8  | 中国語           | 474   | 124                     | 28     | 102 | 60  | 38  | 60  | 61  | 42  | 40  | 43  |  |  |  |
| 9  | 英語            | 709   | 114                     | 72     | 64  | 62  | 50  | 104 | 99  | 72  | 79  | 107 |  |  |  |
| 10 | イタリア語         | 141   | 114                     | 10     | 32  | 11  | 7   | 16  | 14  | 22  | 8   | 21  |  |  |  |
| 11 | ビルマ語          | 63    | 98                      | 1      | 7   | 3   | 8   | 11  | 10  | 11  | 10  | 2   |  |  |  |
| 12 | タイ・ベトナム語      | 107   | 96                      | 7      | 24  | 12  | 6   | 24  | 14  | 8   | 11  | 3   |  |  |  |
| 13 | ポルトガル・ブラジル語   | 78    | 90                      | 2      | 14  | 10  | 8   | 7   | 30  | 8   | 4   | 5   |  |  |  |
| 14 | インド・パキスタン語    | 135   | 87                      | 9      | 19  | 21  | 7   | 30  | 18  | 10  | 12  | 9   |  |  |  |
| 15 | イスパニア語        | 324   | 82                      | 25     | 59  | 60  | 18  | 30  | 55  | 46  | 23  | 36  |  |  |  |
| 16 | インドネシア・フィリピン語 | 89    | 79                      | 3      | 27  | 15  | 12  | 1   | 4   | 5   | 2   | 9   |  |  |  |
| 17 | 朝鮮語           | 59    | 78                      | 0      | 5   | 5   | 1   | 14  | 11  | 4   | 8   | 11  |  |  |  |
| 18 | ドイツ語          | 178   | 67                      | 15     | 19  | 18  | 20  | 37  | 19  | 17  | 20  | 13  |  |  |  |
|    | 合計            | 4,643 |                         | 301    | 620 | 519 | 407 | 667 | 594 | 539 | 412 | 584 |  |  |  |

(カセットテープの部は10頁)

### 編 集 後 記

- ◇ Audio Visual Journal No. 9をお届けします。今年2月6日行われた、第2回外国人教師による外国語教育座談会の記事を特集しました。今回の「外国語で本当にユーモアの理解は可能か？」は「異文化間コミュニケーション」のむずかしさをあらためて我々に認識させてくれる問題提供であったと思います。
- ◇ 今年度1年間のテープライブラリーの利用者統計を掲載しましたが、相変わらず、留学生の利用率が比重に高いことが目立ちます。ビデオ自習ブー

ス18ブース(36名)が設置されたこともあって、音声テープよりも、映像テープの利用が今回初めて上まわりました。貸出者数に対して実際の利用者は、ほぼ2倍以上になるでしょう。

- ◇ 今月中には、ビデオ・ルームの整備、視聴覚教室の充実等が出来る予定であり、来年度からのより一層の利用が望まれます。
- ◇ 今年卒業される片野文夫、黒子弘一、福井悦子各氏には、長い間LLの仕事を手伝って頂きました。

## A V Journal 一第9号一

1986年3月28日発行

編 集 大阪外国語大学視聴覚教育委員会  
 附 属 函 書 館 視 聴 覚 資 料 係  
 発 行 大 阪 外 国 語 大 学  
 印 刷 (株) ム ラ タ 印 刷